

マルスハウジングニュース

発行:マルス建設株式会社 豊田市荒井町松島 368-1

2014年初夏号~6月7月

これからの

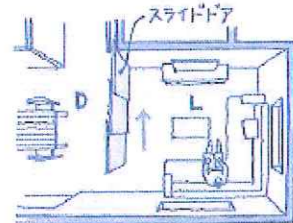
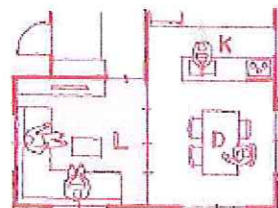
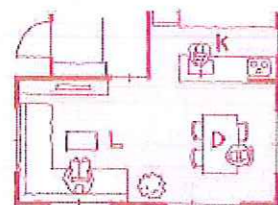
住 まいづくり 間取りにこだわり 自分らしく暮らす

いろいろな展示場を見てもなかなかしっくりこない...そんな経験はありませんか。暮らし方は人それぞれ違います。家族のライフスタイルや好みを反映させることはもちろん、ほかの部屋とのスペース配分も考慮し、間取りを考えていきましょう。

リビングの配置を選ぶ

間仕切りのないLDKは開放感がありコミュニケーションがしやすい人気。冷暖房効率が低くなりがちなので、広さを考えた冷暖房器具選びが重要になってきます。※右上図

間仕切りのある独立したリビングは、不意の来客でもDKを見せずにもてなしできるのが特徴。※右下図



透過性のある素材のスライドドアなら、光を透しながらほどよい独立感を持たせることもできます。※左図



整理収納のコツ

~第5弾~

整理収納アドバイザー



モノを「捨てる」という行為は、単に廃棄するというような無謀な行為ではなく、非常に積極的な整理のための行為です。捨てられない人は、新しいモノを得ることが難しくなります。

例えば、コップの中に数日前の牛乳が入っているとします。新しい牛乳を飲みたい人がその残った牛乳の上に新しい牛乳を注いで飲むでしょうか？まず、古い牛乳を捨ててから新しい牛乳を入れますよね。整理の原理もそれと同じなのです。新しいモノを買いたければ、まず、古いモノを捨てる作業を行わなければいけません。背広を5着持っている人が新しい背広を買おうと思ったら、その前にすでにある背広のうちどれを捨てるか、それを決めるほうが先です。それなのに、みなさんは買うほうを先にしてしまうので、結果としてモノの量が増え、洋服タンスがパンパンになっていくのです。



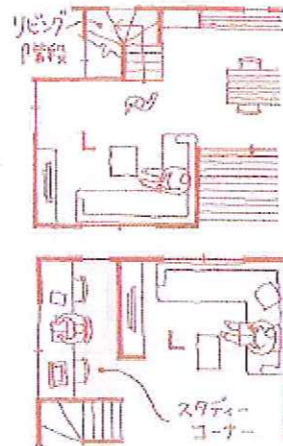
モノが増えるのを防ぐ方法として、できるだけストーリー性の強い買い方をすることです。ストーリー性を強くすることは、自分にとって高価だとか大いに気に入ったデザインであるというような買い方です。モノと自分とのストーリー性を強くして、「これはいいモノだ」という意識を持って使ってみましょう。それがきちんとできていけば、新たに買いたくなる気持ちを止めることができます。100円ショップでかわいい爪切りを見ても、「自分にはもうちゃんとした爪切りがあるのだから他には必要ない」という気持ちになれるからです。

モノを家に入れることを「止める」という感覚を持つことがとても大切です。そうすると将来「捨てる」という行為をする必要がなくなっていきます。したがって、整理をする必要もなくなっていきます。

使いやすい工夫をプラス

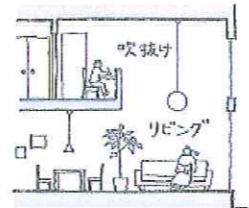
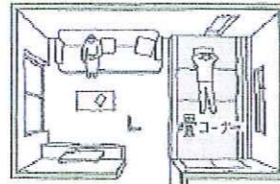
最近ご要望が多い、リビング内に階段を設ける間取り。子どもが外出・帰宅時にリビングを通る際、コミュニケーションが取りやすくなります。冷暖房効率などを考慮し、階段前に扉を設けることもできます。

リビング内やリビング近くに家族共用のスタディーコーナーを設けた間取りもコミュニケーションがとりやすいのがメリット。この場合は、物が雑然と見えないような収納計画をよく考えると◎。



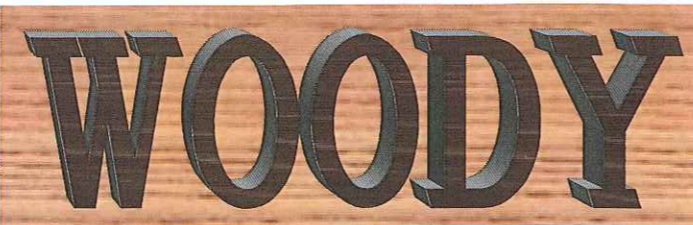
くつろげるアイデアを取り入れる

リビング内に畳コーナーを設けると、赤ちゃんのおむつ替えにも便利です。また畳を小上がりにはすれば腰掛けて使うこともでき、さらに畳の下を引き出しタイプにすることで大容量の収納スペースができます。



天井が上の階まで吹き抜けたリビングは開放感があり、2階の気配も感じることができます。ただし、天井が高く冷暖房効率が低くなりがちなので、全館空調や床暖房なども検討を。

Nature interconnects all life. We live within this harmonious web. 生命のつながりとしての「自然」。その調和の中に私たち人間も存在し、生きている。



紙上完成見学会



【豊田市新盛町 様邸】

南側には広いウッドデッキがあり、四季折々の風景や、小鳥のさえずりが聞こえ居心地の良さにほっとします



【豊田市榊野町 S様邸】

玄関底の木組みが美しい二世帯住宅。玄関ホールの格天井や二間続きの和室など、丁寧な仕上がりの和風住宅です



工事中は大変お世話になりました 竣工おめでとうございます



代表取締役 鈴木純子

~雑感~

時計の針が早回りしたような感じで、気が付いたら今年も半分近くが終わって入梅時期となっていました。今の季節は、湿気が多く不快な時期ですが、梅雨の晴れ間は空気が澄み、木々の緑が一段と鮮やかに輝いて見えます。以前観光で訪れた「アジサイ園」や「花菖蒲園」はこの時期非常に美しく、心を和ませてくれましたが、田舎で育った私の思い出の花は、里山に自生するササユリです。

小学生の頃は無防備に一人で山に入り、可憐なササユリを見つけては時間のたつのも忘れ摘んでいました。家に持って帰り、古い家の薄暗い玄関に飾ると、淡い紅色の花が甘い香りを漂わせていました。『あの山にまだ咲いているのかな』思えば子育てしている時期も、心に余裕は無く、学校のPTA行事で参加した「ふるさとの山歩き」以外、山に出かけた事はありませんでした。娘が孫を連れて帰省した時、「住んでいる時にはなんでこの自然の素晴らしさに気がつかなかったんだろう」と呟いていましたが、仕事を優先し、家族と一緒に過ごす「ゆとりの時間」が私が持てなかった事も一因かもしれません。

日本には、山間の村がたくさん存在します。先日の報道番組では、何年か先には村に住む女性がいなくなり、コミュニティが崩壊するというショッキングな内容でしたが、すでに離島では現実の問題となっているようです。

私の住んでいる旧旭町では、豊田市と合併し、過疎対策として行われている交流事業の成果で少しずつ人口が増えているように感じています。空き家バンク事業で古い民家を改装した際、そこに住む予定の若い奥さまに話を聞いたところ「ここは素敵なおとこだから一生ここに住みたい」と言っていました。若い頃、都会に憧れ田舎暮らしを嫌った私にしてみると、不思議な想いでしたが、なぜか嬉しさがこみ上げました。地域で育った若者達も、町を何とかしようという動きがあるようで、希望が持てそうです。

住まいの耐震博覧会

6月28日(土)29日(日)
ポートメッセなごや
10:00~17:00
※29日は~16:00



今年も住まいの耐震博覧会が開催されます。マルスでは毎年、バスをご用意して皆さまと一緒に1日バスツアーを企画しております。(耐震博~なばなの里)ご希望の方はお気軽に当社までお問い合わせください。 ※HP もご覧くださいね



【暑中お見舞い申し上げます】

日頃お世話になっている皆さまに竹製うちわをお届けいたしました。今年の夏はエコうちわでお涼みください。

<http://www.marusu-home.com>

マルス建設株式会社

- 一級建築士事務所/愛知県知事(イ-23)第 8647 号
- 建設業許可/愛知県知事(特-22)第 25914 号
- 宅地建物取引業許可/愛知県知事(9)第 12413 号

本社/豊田市荒井町松島368-1 TEL.0565-45-7880
本部/豊田市榊野町西ノ入26 TEL.0565-68-3462
E-mail/info@marusu-home.com
<http://www.marusu-home.com>